

めめめのくらげTCG フロアルール Ver.1.0

はじめに

「めめめのくらげTCG フロアルール」は、大会・イベントに参加するすべての方が快適に「めめめのくらげTCG」の対戦を楽しめるよう定められたルールです。対戦の勝敗だけにこだわるのではなく、イベントに参加した全員が気持ちよくカードゲームを楽しむことを目指しましょう。お互いにルールを守り、より良いイベントをつくることを心がけてください。

【もくじ】

- 1 : イベントに参加する方に守っていただきたいこと
- 2 : プレイヤーの皆さまへ
- 3 : 観戦者のマナーと禁止事項について
- 4 : ジャッジの任命と役割について
- 5 : 使用可能なカードとデッキに関して
 - 5-1 : 使用できるカードについて
 - 5-2 : デッキについて
 - 5-3 : 禁止カードについて
- 6 : スリーブ・プレイマットについて
 - 6-1 : スリーブ
 - 6-2 : プレイマット
- 7 : イベント・対戦の進め方について
 - 7-1 : シャッフルに関して
 - 7-2 : 時間切れに関して
 - 7-3 : エクストラターンに関して
- 8 : 勝敗の決定方法について
- 9 : 途中棄権について
- 10 : 不正行為・対戦結果の操作等について
- 11 : ペナルティについて
 - 11-1 : ペナルティの種類と適用の原則
 - 11-2 : 遅刻について
 - 11-3 : 相手や席の間違について
- 12 : 公認大会の運営について

1：イベントに参加する方に守っていただきたいこと

大会・イベントに参加する皆さんは、相手を尊重し、思いやりを持って接してください。また、不正行為を行わないようお互いに心がけてください。

大会関係者は、会場内外（SNS・ブログ・動画投稿などのインターネット上を含む）を問わず、良識ある行動を心がけなければなりません。誹謗中傷、脅迫、暴力、社会的信用を損なう行為、強い悪意のある行動は、民事や刑事事件に発展する可能性があります。これらの行為は当然のことながら禁止されています。

2：プレイヤーの皆さまへ

プレイヤーは、決められたルールやマナーを守り、お互いが気持ちよく対戦できるよう、フェアプレイを心がけてください。勝敗を超えて、常に相手を思いやる態度を大切にしましょう。

対戦に関するマナーについて、プレイヤーの皆さんは以下のことを心がけなければなりません。

- 対戦前後の挨拶を欠かさない
- 対戦中はタイミングや効果をはっきり宣言し、相手も適切に応答する
- わかりやすいプレイを心がけ、カードや持ち物を整理する
- 相手のカードに触れる際は許可を得て、丁寧に扱う
- カードに指示がない限り、対戦相手の手札やデッキをのぞいてはいけない
- 大声を出す、悪口を言う、わざと時間をかけるなど、相手を不快にさせる行為は禁止する
- 席を離れる際は、相手とジャッジ（またはスタッフ）に許可を取る
- 疑問点や問題があれば、ジャッジ（またはスタッフ）を呼んで対応を求める
- プレイヤーは、ジャッジ（またはスタッフ）によって決められた内容に従わなければなりません。

下記に該当する者はプレイヤーの資格がないものとします。

- 「該当する大会への参加資格をなく奪われている者」
- 「特定の参加条件が必要な大会に於いて、その条件を満たしていない者」
- 「その他、本フロアルールに則り、特別に参加を禁止されている者」

3：観戦者のマナーと禁止事項について

観戦者は、大会運営や対戦の妨げとならないよう、定められたエリア内でマナーを守って観戦してください。対戦に関する発言や助言、干渉は禁止されています。これに違反した場合、ジャッジ（またはスタッフ）の判断で観戦をお断りする場合があります。

4 : ジャッジの任命と役割について

すべての大会には1人以上の公認ジャッジを置く必要があります。ジャッジは「めめめのくらげTCG運営事務局」によって任命され、主催者や運営スタッフが兼務することも可能です。ジャッジには十分なルール知識が求められ、公正な裁定を行うことが推奨されます。

すべてのジャッジは、定められたルールを遵守し、公正かつ円滑な大会運営を実現するため、イベント参加者やスタッフと協力する必要があります。また、プレイヤーの模範となるよう、紳士的な対応が求められます。

ジャッジは、プレイヤーから「ゲームルール上の誤った行為」の確認があった場合、一方の意見だけでなく対戦者双方の話を聞き、適切にゲームを進行させるよう裁定を行い、正しい状況に戻します。ただし、対戦が進行した後に誤った行為が発覚した場合は、原則として状況は戻さず、そのまま対戦を続行します。また、ルールの誤りやプレイヤーの不正行為、不正が疑われる行為を発見した際には、これに介入し、指摘および修正を行うことができます。

ジャッジは、該当する大会で失格処分以上の裁定を行った場合、「めめめのくらげTCG運営事務局」に直接、または主催者を通じて報告する義務があります。

5 : 使用可能なカードとデッキに関して

5-1 : 使用できるカードについて

プレイヤーは、大会ごとのレギュレーション（＝大会ごとに定められたルール）で規定されたカードを使用する必要があります。いかなる大会でも、偽造されたカード（コピーや手作りによる代用カードを含む）は使用できません。

カードの表面・裏面・側面に、同じデッキ内の他のカードと区別できる傷や汚れ、印、反りなどがある場合、ジャッジの判断により使用できない場合があります。ただし、スリーブを使用して区別がつかなくなる場合は、使用可能です。また、サインなどの書き込みがあるカードも使用できません。

5-2 : デッキについて

デッキは50枚が規定枚数であり、これを超過または不足することは違反となります。また、同じカードNo.のカードをデッキに5枚以上入れることはできません（最大4枚まで）。原則として、1つの大会では1つのデッキのみが使用可能であり、デッキやカードの変更は認められません。

主催者やジャッジは、プレイヤーにデッキレシピの提出を求める場合があります。デッキレシピの提出が義務付けられている大会では、大会受付時にプレイヤーはデッキ内容を記入したレシピを大会運営者に提出する必要があります。この提出時点で使用するデッキが確定し、それ以降のデッキ内容の変更は原則として認められません。

デッキレシピの提出が義務付けられていない大会であっても、主催者やジャッジは必要に応じて大会途中や終了後にデッキレシピの提出を求めることができます。この場合、プレイヤーは要求に応じてデッキレシピを提出しなければなりません。

5-3： 禁止カードについて

デッキに入れることのできないカードを禁止カードといいます。禁止カードについては大会ごとのレギュレーションなどの別紙を確認してください。

6： スリーブ・プレイマットの使用について

6-1： スリーブ

プレイヤーは、大会ごとのレギュレーションで定められたスリーブを必ず使用してください。

デッキ内のすべてのカードは同じスリーブに入れ、向きを統一する必要があります。1枚のカードに対して2枚までスリーブを重ねて使用することができますが、その場合はすべてのカードで同じ枚数・同じ重なり順で使用してください。カード内容が著しく確認しづらいスリーブや、鏡のように反射するスリーブの使用は、ジャッジの判断で禁止される場合があります。スリーブは不透明なものを使用してください。スリーブを2枚重ねる場合、内側と外側のいずれかは不透明なスリーブを使用する必要があります。もう一方のスリーブは、透明または不透明のどちらでも構いません。大会において、ジャッジによりスリーブが不適切と判断された場合、プレイヤーは適切なスリーブに交換しなければなりません。

6-2： プレイマット

プレイヤーは、カードの保護や対戦を楽しむことを目的としてプレイマットを使用できます。また、対戦をスムーズに進行させるため、カードの配置場所が記載されたプレイマットを使用することも可能です。大会によっては、あらかじめプレイマットが設置されている場合があります。

公式大会において、以下の条件を満たすプレイマットは原則として使用できません。公認大会でもこれに準じることが推奨されますが、最終的な判断は大会の主催者またはジャッジが行います。

- 過度に大きく、対戦や他の対戦の妨げになる可能性があるマット
- 当該TCGに設定されたカード配置とは異なる配置が記載されているマット

7：イベント・対戦の進め方について

7-1：シャッフルに関して

デッキをシャッフルするとは、デッキ内のカードの順番がプレイヤー双方に分からないようにし、十分ランダムな状態になるまでよく混ぜることを指します。すべてのプレイヤーのデッキは、それぞれの対戦が開始したときや、対戦中に「デッキをシャッフルする」と指定された直後に、十分ランダムな状態にシャッフルされていなければなりません。不正な操作を伴うシャッフルが発覚した場合には、厳しいペナルティが科せられます。

■プレイヤーによるシャッフル

プレイヤーは、自分のデッキやカードの指示に従ってシャッフルする必要がある場所を、十分ランダムな状態になるまでシャッフルできます。シャッフルは対戦相手に見える位置で、適切な時間内に行い、カードを傷つけたり内容を見たりしないよう注意しなければなりません。

シャッフルの後、対戦相手もシャッフルを行えます。対戦相手がシャッフルを行った後（またはシャッフルしないと宣言した後）は、プレイヤーはそれ以上デッキをシャッフルすることはできません。ただし、両者が了承した場合に限り、相手にシャッフルしてもらう必要はありません。

■相手の代理でシャッフルを行う場合

プレイヤーが自分のデッキをシャッフルした後、代理でシャッフルを行う場合は、双方のプレイヤーが同意した手順で実施してください。代理でのシャッフルも、通常のシャッフルと同様に時間をかけすぎないように注意してください。

（代理で行うシャッフルの手順例）

- (1) シャッフルを終えたプレイヤーがデッキを同じ枚数の3つの束に分けます。
- (2) 相手が3つの束を自由な順番で指定し、その順で積み重ねるよう指示します。
- (3) 指定された順に従って3つの束を上から積み重ねます。

■ジャッジによるシャッフル

ジャッジは、「ゲームルール上誤った行為」を適切に処理する際に、プレイヤーのデッキをシャッフルする権限を持っています。ジャッジがデッキをシャッフルした後、プレイヤーはデッキをシャッフルすることはできません。

7-2：時間切れに関して

個別の対戦に制限時間が設定されている場合、制限時間が来た時点でまだ勝者が決定していなかった場合、後述のエクストラターンの設定がある場合を除き勝敗判定は行わず、その対戦は両者敗北となります。

7-3： エクストラターンに関して

対戦時間が終了した際に勝敗判定を行う必要がある場合、追加のターンを行うことがあります。この追加のターンをエクストラターンと称します。エクストラターンは、大会で設定されている場合にのみ実施されます。規定されたターン数や、個別のルールに基づいてエクストラターンを進行します。

8： 勝敗の決定方法について

対戦の終了および勝敗は、大会ごとに定められたレギュレーションに従って決定されます。
対戦記録用紙に結果を記入するか、ジャッジが結果を確認した後は、対戦結果を覆すことはできません。

9： 途中棄権について

大会途中で棄権を希望するプレイヤーは、ジャッジまたはスタッフにその旨を伝え、許可を得なければなりません。対戦相手が発表された後、対戦開始前に棄権が決まった場合、その対戦は不戦敗扱いとなり、以降の大会からの棄権が確定します。
また、棄権した場合、記念品などの特典を受け取ることはできません。

10： 不正行為・対戦結果の操作等について

プレイヤーは、いかなる大会であっても、対戦相手と相談して試合結果を決定したり、結果を改ざんする行為を行ってはなりません。対戦結果を不正に操作した場合、厳しいペナルティが科せられます。

11： ペナルティについて

「めめめのくらげTCG フロアルール」および大会ごとのレギュレーションが守られなかった場合、またはジャッジやスタッフの指示に従わなかった場合、ジャッジまたはスタッフによってペナルティが科せられる場合があります。ペナルティは、大会やイベント、違反の程度、状況に応じてジャッジやスタッフが判断し、科されます。また、ペナルティを受けた後も違反が繰り返される場合、より重いペナルティが科せられる可能性があります。

11-1：ペナルティの種類と適用の原則

以下のペナルティ適用例は一例であり同様の違反でも状況に応じて軽減または重くされる場合があります

【注意】

イベント期間中、プレイヤーごとに記録される軽度のペナルティです。「ゲームルール上誤った行為」に対しジャッジはできる限り正しい状態に戻すが、完全に元の状態に戻すのが難しい誤りの場合に与えられる。何度も【注意】を受けた場合、【警告】に格上げされることがある。

(違反例)

- 誤って、余分にカードを引いてしまった場合
この場合、余分に引いた枚数をジャッジがランダムに選び、デッキに戻しシャッフルします。
- 対戦中に観客に助言を求めた場合
- 観客が対戦中のプレイヤーに声をかけたり、身振りで対戦に関わる情報を伝えた場合

【警告】

プレイヤーごとにイベント期間中記録されるペナルティです。それほど重大ではない違反に対して与えられます。複数回【警告】を受けた場合、【敗北】や【失格】に格上げされることがあります。

(違反例)

- 遅いプレイングの継続
対戦時間内に決着がつかないような遅いプレイを続けた場合。ジャッジに申告され、実際のプレイ時間を確認のうえ対応します。
- 前後の状況に影響を及ぼさない一連のプレイング
- (無意味なカード提示の繰り返しやトラッシュ確認、結果の変わらないループ行為の繰り返しなど。)
- 誤って相手に誤情報を伝えた場合
- 相手への挑発や侮辱行為

【敗北】

悪質な違反や、違反によって対戦の続行が不可能となった場合に与えられます。【敗北】を与えられたゲームは即座に終了します。【敗北】を与える権限を持つのは、大会主催者と、主催者から許可されたジャッジまたはスタッフのみです。

(違反例)

- デッキ構築条件の不備
- 大会レギュレーション違反
- 無許可のデッキ変更

【失格】

非常に悪質な違反や、イベント全体に損害を与える行為、重大な反スポーツ的行為に対して科されます。【失格】を受けたプレイヤーは現在の対戦に敗北し、以後の対戦にも参加できなくなります。また、それまでの成績に関する賞品を受け取ることもできません。観客が【失格】となった場合、会場から退出しなければなりません。

(違反例)

- 対戦結果の不正操作
- 対戦相手と相談し、対戦や結果を不当に操作した場合
- (取引に加担した対戦相手も【失格】となります)。
- 賭博行為や買収行為、イベント物品の窃盗
- 意図的な不正行為
- 例: 相手のデッキや手札など、見ることが許されない情報を故意に見て利益を得ようとした場合。
- 必要以上のカードを得るなどの不正行為

※ 公式大会では、上記ペナルティに加え【出場停止】が適用される場合があります。

11-2：遅刻について

- 5分以内もしくは、個別に規定された時間以内の遅刻 … 【警告】
- 5分以上もしくは、個別に規定された時間以上の遅刻 … 【敗北】
- 5分以上もしくは、個別に規定された時間以上の遅刻をした者が【敗北】のあと、更に次の対戦にも5分以上もしくは、個別に規定された時間以上の遅刻をした場合 … 【失格】

11-3：相手や席の間違について

■ 結果報告前に発覚した場合

プレイヤーが間違った席に着いたり、間違った相手と対戦していた場合、結果報告前であれば以下の対応が適用されます。間違った席に着いていたプレイヤーは、正しい席に移動します。

ただし、「遅刻に定義される時間」を過ぎていた場合、遅刻の罰則が与えられます。

■ 結果報告後に発覚した場合

プレイヤーが間違った席に着いたり、間違った相手と対戦していた場合、結果報告後であれば以下の対応が適用されます。

次の回戦のマッチングまでに発覚した場合：運営スタッフが可能な限り結果の正常化を行います。

次の回戦のマッチング後に発覚した場合：主催者またはジャッジが、正常化を行うか否かを判断します。

12：公認大会の運営について

公認大会を開催するためには、主催者は以下の手順を守る必要があります。

① 準備段階

- 大会を行う場所を確保する。
- 必要な人員および備品を準備する。
- 規定に従い、「めめめのくらげTCG運営事務局」に大会の申請を行う。
- 告知の実施

申請が受理された場合、大会の告知を十分に行う。告知内容には、大会の開催場所、開始時刻、大会形式、対戦形式、その他特殊条件などを含めること。

② 大会中の配慮

- 周辺環境に迷惑をかけないよう配慮する。
- 公正かつ健全な大会運営に努める。

③ 大会終了後の対応

- 規定に従い、「めめめのくらげTCG運営事務局」に大会結果を報告する。
- 必要がある場合は、備品の返送を行う。